

50 ありがとうを  
未来へ 周年

福島医療生活協同組合

ふくしま



発行所  
福島医療生協

医療生協

2019年10月号 第404号  
発行責任者 渡辺 幸夫  
<http://watari-hp.jp/>

|                               |                  |           |               |
|-------------------------------|------------------|-----------|---------------|
| 福島医療生活協同組合                    | TEL 024-522-1236 | 〒960-8141 | 福島市渡利字中江町66番地 |
| 医療生協わたり病院                     | TEL 024-521-2056 | 〒960-8141 | 福島市渡利字中江町34番地 |
| 生協いいの診療所                      | TEL 024-562-4120 | 〒960-1301 | 福島市飯野町字後川27-2 |
| 医療生協わたり病院附属<br>ふれあいクリニックさくらみず | TEL 024-559-2664 | 〒960-0241 | 福島市笹谷字釜谷地20-1 |

九月八日(日)、県青少年会館で『福島医療生協創立五〇周年いきいき健康まつり』が開催されました。四千人の方々が参加され、大盛況でした。まつりの様子はラジオ福島でも放送され、「行けなかったけど、ラジオで聴いたよ」という方も。みんなで楽しんだ一日でした。



オープニングの山木屋太鼓(かっこよかった～♪)

## 福島医療生協創立五〇周年 いきいき健康まつり開催 9/8



音楽やお笑いライブ也大盛況♡

詳しくは二・三ページ



渡利支部いち前健康チェック



さくらみず  
ウォーク  
上川ダム  
辺を元気に



松川若宮班  
会 研修医  
を囲んで

### 月間の方針

- お近くの方を組合員に誘ってみましょう。
- よろしければ、増資をお願いいたします。
- 機関紙配布などお手伝いください。
- 楽しい班活動をしてみましょう。

### くらしが大変

金融庁の年金二千万円不足報告以来、若年層を含めて暮らしへの不安が広がっています。消費税の増税や、医療

介護サービスの切り下げ・負担増が、これに追い打ちをかけています。社会保障の充実と、税制の改善を求める運動を広げることが必要です。

## くらしと健康まもる 医療生協を強く大きく

10/15~12/14  
生協強化月間

### いまこそ医療生協の出番

同時に、協同の力で暮らしを守る生協の組織と活動を、強めることが求められています。「生協強化月間」では、みなさん力を合わせて、次のことにとりくみましょう。

### とにかく福島に民医連の病院を！

## 写真で振り返る 福島医療生協の50年

⑦

福島医療生協  
理事長  
丹治 伸夫



青年時代の丹治理事長

その後、病院化を展望し、故松崎新男理事たちの尽力で、渡利診療所をつくった。当時、『田んぼの中の診療所』などと新聞に書かれ、「何でこんなところに建てた

「我々が救急医療をやるんだ。患者のことを第一に考える民医連(民主医療機関連合会)の病院を創るんだ」と誓い、初代所長の草間先生と福島診療所(福島市豊田町)から始めた。休日診療や夜間の往診もした。往診は自転車やバイクで行った。夜間の電話当番は、当時の理事が交替で行った。

「救急医療と健診を大事にしてきたが、我々だけでは住民の要求に応えきれない」と思い、他の病院や事業所と連携して、地域の救急医療や健診の充実を図ってきた。まずは自分たちが一歩先に立つてやり出さないと、事は進まない。

地域づくりは、みんなの要求を聞いて進めていかなくてはいけない。その意味で、班会はとても大事な活動だと思う。組合員も職員もみんな夢を出し合って、今後民医連・医療生協らしい活動を進めていきたいと思います。



渡利診療所。今のわたり病院の回りは田んぼと畑だった...

## 健康チェック

大人気！  
健康チェック  
コーナーには  
長蛇の列。血  
圧、骨密度、血管年齢、足指  
力、血糖、手洗体験、認知症  
講座など、たくさんの種類の  
健康チェックがありました。  
あまりの希望者で混雑し、受  
けられなかった方もいらっ  
しゃいました。



# 『福島医療生協創立五〇周年いきいき健康まつり』開催 四千人の参加者で大成功!!!

まだまだ暑い九月八日の日曜日、青空のもと福島医療生協五〇周年を祝う「いきいき健康まつり」がおこなわれました。オープニングの山木屋太鼓から、まつりの雰囲気は最高潮に達し、会場の県青少年会館は大賑わいでした。ラジオ福島での宣伝もあって、組合員以外の方や遠くから来られた方もいらっしゃいました。



足指力チェック



血圧測定



認知症講座

## マルシェ

各支部の組合員さん方が工夫を凝らしたマルシェ(出店)は、様々な食べ物や手作りの作品が売られました。「こういう手作りのお店が医療生協らしくてよかった」「子どもを連れてきても安心」との声がありました。



## 自然エネルギー

実験室では原発事故当時の活動を紹介しながら、小さなソーラーカーと風力発電の実験を行いお子さんが一生懸命作品作りに奮闘していました。

### 自然エネルギー



ソーラーカーづくり



吉井田支部



二本松支部



飯坂支部



保原支部 似顔絵コーナー



あづま支部

## 歴史

福島医療生協の五〇周年を写真で展示するコーナーでは、「こんな歴史もあったんだ」「あら、病院の前は田んぼだ」との声と、「これから住民と患者のために福島医療生協には頑張ってもらいたい」とご意見をいただきました。



ぼけっと班の作品



## 各コーナー

わたり元氣力  
フエのタピオカミ  
ルクティーも、子  
どもコーナーも、  
うたごえコー  
ナーも大盛況!!



うたごえコーナー



子どもコーナー



わたり元気カフェ



## ライブ

体育館ではav  
eさんとMANA  
Mーさんのライ  
ブ、そして母心さ  
んのお笑いライブ  
がありました。(写  
真を見てくださ  
い。すごい人デ  
しょ)



北條院長 閉会のあいさつ

組合員も職員も話し合いを重ね、「まづりに来られた方々にどのように喜んでもらおうか」「どうしたら、今までの五〇年の医療生協の活動をこれからにつなげていけるだろうか」一生懸命様々な工夫をしました。

医療をはじめ厳しい社会保障縮小の情勢の中、我々はくじけることなく、患者さんと地域の方々の健康を守り安心して暮らせるまちづくりを進めていかなければいけないと、気持ちを新たにしたり一日でした。

みなさん、お疲れ様でした。



新任Dr.  
紹介

入職のごあいさつ



わたり病院内科  
すすむ  
小林 奏 医師

初めまして、小林奏（すむ）と申します。昔は自分の名前をしつかり発音できずチュチュムと言っていたので幼少時のあだ名はチュチュでした。東京都墨田区出身で、生まれつき

右足發育不良で大学受験浪人中に右足が左足に比べて約5cm短かったため脚延長の手術を受けました。

一九九九年奈良医大卒業、  
京都の宇治徳洲会病院で初  
期研修し、その離島研修先の  
鹿児島県徳之島徳洲会病院  
で医局秘書をしていた妻と  
出会いました。後期研修は  
大阪の北野病院神経内科、  
その後は東京、福岡、沖縄へ。

臨床的な疑問を解決すべく臨床研究を学ぶために二〇一三年秋に福島医大の臨床研究イノベーションセンターで働きながら、二〇一四年春に京都大学の大学院に進学し、二〇一六年秋に福島医大総合内科の立ち上げに参加しました。

趣味はギターとドラムス、水泳です。

わたり病院では透析を担当させて頂きます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ちょっと  
いい話  
11

[illegible]

高齡者住宅ひだまりで、五年半過ごしたSさんと、八月にお別れをしました。一度は病院に入院をしま

したが、ご家族のご希望もあり、ひだまりでの看取りとなりました。Sさんは、

会津若松のご出身で、医療生協の組合員活動にも尽力されてこられた方です。亡くなられる三日前に、すこし意識がしっかりされていたのでお話している。「わたし病院はな、もつとみんなが団結すれば大きくなれるんだ」と何回

高齢者住宅ひだまり  
松崎 暁世

も訴えてくれました。また「うちらはな、娘二人が良いかな」でも、もうおしまいなんだ」とも。その数時間後に意識が遠のき、それから二日後に娘さんに看取られてお亡くなりになりました。

「みんながもっと団結すれば大きくなれる」というこの言葉は、社会を変える活動を続けてきたSさんからの、私達への「遺言」だったのだと思います。

最期に寄り添って頂いた娘さんからは、「職員が部屋に来て意識のない本人に声

高齡者住宅ひだまりは、今年の十一月で開設六年を迎え、これまでに二十三名の方を住宅で見送ってきました。これから、最期の時間を温かく過ごして頂けるよう職員みんなで努力していきたいと思っています。

放射線による健康影響の不安軽減のため、内部被ばく検査を受けましょう。  
医療生協わたり病院ではホールボディカウンタによる内部被ばく検査を行っております【お問い合わせ：医療生協わたり病院健診センター TEL.024-522-3446】



## 「健康であることが しあわせなこと」

霊山支部  
ひまわり班

霊山支部ひまわり班は、霊山町下小国にある班で、結成から約四十一年の長寿の班です。現在班長は高野光子さん（写真左から二番目）、お年は九十二才でまだまだ元気です。「もう年だから、誰か若い人に代わってもらえるといいんだけど」という度に、班のみなさんに「元気なんだから、もうちょっとやってみよう」と言われまして、頑張りましょうと頑張っています。

班会は二ヶ月に一回のペースで、漬物やお菓子を食べながら楽しく行っています。

ます。「出かけることが少なくなつたから、医療生協の班会に来ることが何よりの楽しみなんだ」「班会の日にはカレンダーにいつも〇してあんだ。本当に楽しみにしてんだよ」「顔を合わして、話したりするのがいいんだ。あの棒体操も、とてもいいんだ」と班員のみなさんがニコニコしながら答えてくださいました。原発事故以降、引越してしまつた若い世帯も多く、子どもの声も少なくなりました。それだけに、残つた高齢者たちは「負けていられない」と、健康に気を付けて様々な野菜を作り、頑張っています。

初代班長の佐藤好一さんはお亡くなりになる少し前まで、医療生協の活動を支えてくださっていました。その中で、好一さんは「健康であることがしあわせなこと」といつもおっしゃっていました。今でもその言葉を胸に、ひまわり班は楽しく活動しています。

## 職員募集中

### わたり病院

#### ●看護助手

病棟を中心に患者さんの身体介護等を行っていただきます。

勤務

〈正職〉①7:00～15:30、②10:30～19:00、  
③12:30～21:00の交代制  
〈パート〉8:00～16:30（※8:30～17:00の出勤も稀にあり）週5日程度

#### ●調理助手（パート）

入院患者さんに提供する食事の調理、配膳下膳やその他付随する業務を行っていただきます。

勤務

①8:00～11:30、②9:00～12:30、  
③13:30～17:00、④16:00～19:30  
（就業時間、応相談）週5日程度

#### ●病棟事務（パート）

病棟での入退院にかかわる事務作業や書類整理、患者さんやご家族への対応等行っていただきます。

勤務

8:30～13:30、月～金

### ポプラ保育園（パート）

#### ●保育士

職員専用保育園での保育業務です。

勤務

8:00～16:30、月～金  
※午前のみ（8:00～13:00）、午後のみ（15:00～18:00）も可能です。

### 訪問介護やまなみ ステーション（パート）

#### ●看護師（訪問看護）

勤務

8:30～17:00、月～金

問い合わせ先 7960-8141  
福島県福島市渡利字中江町66  
Tel.024-522-1236 担当/渡辺

給与は当生協規定によります。詳細はお問い合わせください。

## INFORMATION

### これからの行事

#### ◆各地域の文化祭に参加

吉井田学習センター文化祭

◆日時／10月26日（土）～27日（日）

吾妻学習センター利用者のつどい

◆日時／10月27日（日）

飯坂学習センター文化祭

◆日時／11月2日（土）

もちずり学習センター文化祭

◆日時／11月3日（日）

#### 禁煙ポスター展示

◆日時／11月7日（木）～11日（月）

◆場所／コラッセふくしま1F アトリウム

#### 北海道東北ブロック組合員活動交流集会

◆日時／11月26日（火）～27日（水）

◆場所／穴原温泉 吉川屋

組合員のみなさんからの記事を募集しております。

ご意見ご感想、身の回りのことなどをお寄せ下さい。

素敵な作品なども大歓迎です。



●お問合せ  
福島医療生協組合員活動部  
Tel.024-522-1236



伊達橋歩道橋（旧伊達橋）

## ★ふるさとの歴史探してみませんか★ 伊達橋と大正橋

蓬萊支部 菅野 家弘

伊達郡は阿武隈川をはさんで二つの地域にわかれていた。だから橋を作って一体化することが政治的にも経済的にも必要であった。その橋をどこに作るか、決定は伊達郡会にあった。桑折にするか長岡にするか、伊達郡会是对立し、郡会議員が宿泊していた旅館を民衆が襲ったり、郡会議員宅が焼打ちになることもあった（大正三年）。郡会が桑折側が勝つが長岡側はあきらめない。代議士、県議にはたつきかけ、二橋架設を県に認めさせた。県費補助は折半、まず、桑折側に大正橋が完成した（大正六年）。長岡側は長岡村営として同年起工、十年に完成する（伊達橋）。ここには明治四十一年から保原までの軽便鉄道が走っていた木橋（川の氾濫の度に流されたという）があったが、伊達橋を利用して軌道電車がひかれ（大正十五年）、物流の状況は大きく変化することになった。